岐阜大学男女共同参画推進室

News letter かもみーる通信

89号
2017年11月

CONTENTS

＊ 英語セミナー
＊ キャリアパス支援講演会
＊ カモミール・ミーティング
＊ カモミール月暦
＊ トップマネジメントセミナー
＊ 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

英語セミナー

構成員の研究力向上を目指して開催

留学生も歓迎！

男性研究者、院生の方々も参加できます！

edanz

英文校正・論文投稿支援などを手がけるエダンズ グループジャパン株式会社から講師を招き、セミナーを開催します。

11月29日（水）
13：00～17：00

英語論文執筆ワークショップ
論文の採用率を高めるために求められる執筆スキルを中心に学びます。

11月30日（木）
13：00～17：00

プレゼンテーションスキルアップ ワークショップ
国際学会など国際的な場でおこなうプレゼンテーションに必要なスキルと効果的なスライド作成などを学びます。

場　所　岐阜大学 情報館 2F 会議室

対　象　岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社所属の研究者・研究職　30名程度（大学院生も可。性別・分野は問いません。）
ただし、補助金の性質上、応募者多数の場合は女性研究者優先とします。

募集締切　定員に達し次第

◈ 詳細は「清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト」Webサイトでご覧いただけます。
URL：https://diversity.gifu-u.ac.jp

お問い合わせは、男女共同参画推進室までどうぞ。

カモミール月暦　（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当）　林　正子

「清流の国ぎふ 女性の活躍推進会議」報告
～「清流の国ぎふ 女性の活躍推進サミット」紹介～

10月25日（水）、岐阜県庁で「第3回 **清流の国ぎふ 女性の活躍推進会議**」が開催されました。岐阜労働局、中部経済産業局、岐阜県市長会など行政分野の代表者、岐阜県経営者協会、経済同友会、建設業協会、森林施業協会、中小企業団体中央会、農業協同組合中央会、日本青年会議所東海地区協議会の各団体代表者とともに、民間企業・団体の女性役員ら合計20名が委員を務めており、古田 肇 知事も出席なさっての〈女性の活躍推進によって岐阜県の発展をめざす会議〉です。

委員会の冒頭で、著書**『ありえないレベルで人を大切にしたら23年連続黒字になった仕組み』**（ダイヤモンド社　2017年3月）で知られる、**近藤宣之**（株）日本レーザー代表取締役による講演がおこなわれました。

レーザー輸入商社である（株）日本レーザーは、第1回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 中小企業庁長官賞、東京商工会議所 第10回「勇気ある経営大賞」、経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」、厚生労働省「キャリア支援企業表彰2015」、ホワイト企業大賞委員会 第3回「ホワイト企業大賞」をはじめ、数多くの受賞歴を有する優良企業です。

講演では、「社員は会社から大切にされているから頑張れる」、「社員の危機意識と当事者意識が救ったピンチ」、「人事は個々の社員に向き合うこと」、「働き甲斐を高める仕組みと風土」、「なぜダイバーシティ経営で女性を大切にすると利益が上がるのか」、「多様な人財のライフスタイルに応じた雇用制度」等々、ダイバーシティ経営による成果の数々とさらなる可能性が語られ、さまざまな立場の委員それぞれにとって数多くの有益な示唆がもたらされました。

続いて、**鈴木裕子** 子ども・女性局長より、岐阜県における「**女性の活躍推進に向けた組織風土づくり**」、「**ワーク・ライフ・バランスの実現、働き方改革の推進に向けた環境整備**」、「**女性の希望に応じたキャリアアップに向けた支援**」の各事項における今年度のおもな取り組みが紹介されました。

なかでも、「**トップの意識改革、女性人材の登用を経営戦略とする姿勢の明確化**」を趣旨とし、岐阜県内の企業経営者らを一堂に集める「**清流の国ぎふ 女性の活躍推進サミット**」（**2018年2月22日（木）13：30～16：15　岐阜都ホテル**）の開催は特筆すべき企画です。来年2月22日（木）当日は、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定式に続き、参加者一同による「共同宣言」、野田聖子 女性活躍担当大臣によるビデオメッセージ、八木洋介（株）people first 代表取締役 による基調講演、渥美由喜 東レ経営研究所主任研究員をコーディネーターとするパネルディスカッションが予定されており、女性の活躍推進に向けた気運が大いに醸成されるにちがいありません。ご関心のおありの方、ご都合のつかれる方は、どうぞぜひお出かけください。

「第3回 清流の国ぎふ 女性の活躍推進会議」の最後の協議事項として、女性の活躍総合支援体制検討委員会による「**女性の活躍総合支援体制の構築に向けての提言**」を委員長の私が担当しました。

昨年2016年11月に設置された「**岐阜県女性の活躍支援センター**」の機能強化に向けて、新たに「**女性の活躍を支援するワンストップの総合窓口**」としての役割と、「**県下の各地域までをカバーする支援体制**」の確立が期待されていること、その実現に向けて、専門相談機関による支援センター巡回や相談事例の共有など、相談機関相互のネットワークの充実と拡大に取り組むとともに、中長期的には、関係する各相談機関を一定のエリア内に集約することも視野に入れた検討が必要であることを提起しました。また、県下全域に支援体制を拡大普及するため、東濃地域や飛騨地域など、支援センターから遠隔地に居住する県民への支援を強化するセンターブランチ（窓口）の設置や、各地域での研修等を開催するとともに、将来的には各市町村において女性の活躍に係る相談体制が構築されるよう、市町村の担当職員のスキルアップ支援等をおこなっていく必要性についても訴えました。

岐阜大学男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課におきましては、引き続き、「岐阜県女性の活躍支援センター」の実効性ある体制や成功事例からも学びながら、構成員一人ひとりにとって「働きやすく学びやすい大学」の実現に努める所存です。さまざまな立場にある構成員の皆さまからのご支援ご協力、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

キャリアパス支援講演会

10月11日（水）午後1時から、講師にカルビー株式会社執行役員人事総務本部本部長の江木忍氏をお招きして、キャリアパス支援講演会を行いました。水曜日1限の「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」の一環として実施され、岐阜県の「若者に対するライフプランセミナー講師派遣事業」による支援によって実現したこのキャリアパス支援講演会には、連携機関の教職員のほかにも、多くの学生さんが参加してくれました。

カルビー株式会社は2009年に、従来の体制から新しい執行部へと変わり、それにともない企業の方針も刷新されたそうです。「社員が成長しなければ企業の成長はない」という考えのもと、2010年にプロセス重視の業績評価を廃止し、Commitment & Accountability（成果主義）を導入し、組織の透明化と業務のシンプル化、適切なインセンティブとシビアな評価など、企業のさらなる成長を目指した改革が次々と実施されました。

ご自身のキャリアに関しては、「浮き沈みが多いのが特色」だそうで、「やりたいことがあれば、降格してでもやらせてもらう」という考えだそうです。カルビーの人事に関しては、「自立的に成長し、成果を出し続ける人・組織を目指す」というのがモットーで、自分自身で考え、行動するという意味で『自立的』という漢字をあえて使っているのが人事上層部のこだわりであるとのことでした。制度面では、モバイルワーク制度（会社に出勤せずに、自宅やカフェなどで自由に仕事ができる制度）や、キャリア形成支援として自己啓発制度（勤務時間外の研修などに費用を援助する制度）の導入が進んでいます。「仕事にはスピードとタイミングが大事。万全を期していてはタイミングを逃すこともあるので、60点くらいで実施に移すというスピードも大事」とコメントして、講演を締めくくりました。

組織運営に係る有意義なご講演であったと同時に、就職を控えた学生の皆さんにとっても示唆に富むご講演となりました。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

トップマネジメントセミナー

10月２６日（木）午後1時から、グランヴェール岐山にて、講師に（株）文藝春秋 ナンバー・クレア局 クレア部門担当局長の井上敬子氏をお招きして、アピ株式会社担当のトップマネジメントセミナーを実施しました。

出版業界は、勤務時間が不規則だというイメージがある中で、産休・育休を取りながら仕事を継続された経験を、「ひとりから始めるダイバーシティ」というテーマで紹介していただきました。当時は、子どもを持ちながら編集の仕事をするなど前例がありませんでしたが、「自分がやれば、あとから女性が続くに違いない」と思いながら仕事を続けた経験を紹介し、「ひとりから始め」たけれども、今では何人かの女性が井上氏に続いて、子どもを持ちながら編集の仕事を継続しているそうです。子どもが小さい時は、夜遅くまで預かってくれる保育園に預けて何とか仕事を頑張りましたが、「小学生の壁」はそれ以上に困難で、仕事好きな井上氏を思い、もともと家事が得意だった配偶者（夫）が「専業主夫になる」という解決法で乗り切ったとのことです。「うちはたまたまこの解決法が良かったけれども、それぞれの状況に合わせた解決法がきっと見つかるはず」とおっしゃっていました。

聴講した各機関の幹部層も、家庭生活と職業生活の両立に向けての井上氏のさまざまな創意工夫のエピソードに頻りに首肯していました。組織運営においても大いに参考となるご講演でした。

カモミール・ミーティング

岐阜大学男女共同参画推進室では、家庭生活と職業生活を両立させている教育職員の方々と、学生の皆さんとの意見交換の場である「カモミール・ミーティング」を開催しています。現在までに、全4回（第1回（3月17日）、第2回（4月27日）講師：森本 真紀 先生（教育学部 准教授）、第3回（6月26日）講師：安藤 弘樹 先生（医学系研究科 助教）安藤（北尾）公英先生（医学系研究科 日本学術振興会特別研究員）、第4回（8月25日）講師：勝野 那嘉子 先生（応用生物科学部））おこなわれ、ミーティングの様子はG-プロジェクトに掲載されています。

現在の学生生活における勉強や研究上の悩みの解消に向けて、また、卒業・修了後の生活におけるワークライフバランスの実現をめざして、先生方のお話からヒントを得るとともに、学生さん同士の情報・意見交換の機会となることを願っています。研究室に女子が少ないリケジョの方々はじめ、大勢の学生さんの参加を期待しています。

次回 カモミール・ミーティング

開催日：ポスター等でご案内します。（11月下旬）
場　所：カモミール・カフェ（大学会館2階 生協の前）
講　師：小林 佑理子 先生（応用生物科学部）

学生であれば誰でも参加できます!
お誘いあわせの上、ぜひご参加ください!

保育園たより

10月は、4日（水）「お月見会」、10日（火）「さつまいも掘り」、19日（木）「医学部地域体験実習」、24日（火）「運動会」、31日（火）「ハロウィン」と、イベント満載。みんなで楽しみました。

▼ ハロウィン

▼ お月見会

▼ 地域体験実習

▼ さつま芋掘り

▼ 運動会

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係）　URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/
〒501-1193　岐阜市柳戸1-1　TEL：058-293-3378　FAX：058-293-3396　E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp
＊男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。